

はせだより 広報



医療安全研修を実施しました



◆AEDを用いた「救命措置」について学びました

託児所にて、医療安全研修が実施されました。今回「フクダ電子」さまより機器をお借りし、AEDを用いた救命措置の研修として、実際に機器を使用した訓練を行いました。

AEDとは、血液を流すポンプ機能を失った状態の心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。医療従事者でなくても使用でき、人が多く集まる会社や施設などを中心に設置されています。

心停止した際、救急車が到着するまでに救命処置が行われていない場合、10分程で救命率はかなり低下し、さらに脳のダメージを減らすためには「3分以内」に救命処置行うことが望まれています。

研修は、看護師が講師として保育士に救命手順などを説明しました。今後の緊急時に、迅速な判断と対応ができるよう、努めてまいります。



行事食「バレンタイン」

バレンタインは、入院患者さまとデイケアのご利用者さまに、特別なデザートをお届けしました。小さなチョコロールケーキにみずみずしい苺と生クリームが添えられており、キャンディ型のホワイトチョコレートがとても可愛らしい一皿です。



経管栄養の研修を実施しました

◆新しいシステムをご提案いただきました

看護師、管理栄養士、リハビリスタッフを対象に「経管栄養」に関する研修を実施しました。経管栄養とは、口からの食事が難しい方や、誤嚥の危険性が高い方が栄養を補給するために行われる方法のひとつです。今回の研修は、「ネスレ」さまより、新しい経管栄養として投与回数を減らした上で排泄コントロールを行うシステムの説明をしていただきました。質疑応答では、患者さまに携わる機会が多い、看護師ならではの目線で意見や質問をする姿が多く見られました。患者さまとスタッフ、双方にとってより良い環境となるよう、検討して参ります。



▲講師：ネスレ
そうじ ひかる
荘司 光さま



◆ホワイトデーの由来についてご紹介します！



「ホワイトデー」が日本発祥のイベントなのを、皆さんご存知ですか？由来は諸説ありますが、バレンタインデーが日本に定着した当初は「お返しをする日」というものは定められておらず、今から約50年ほど前に、各菓子メーカーたちが商品をPRする目的で「リターン・バレンタイン」「マシュマロデー」「クッキーデー」など、独自の呼び方や贈り物を定めたのが始まりだといわれています。その7、8年後に「ホワイトデー」という名称に変更されるのですが、その由来も「マシュマロを思わせる白」「純潔のイメージを持つ白」など様々です。

日本を始めとしたアジア圏ではなじみのある記念日ですが、アメリカやヨーロッパではそういった習慣はないそうです。「いただきものにはお返しをする」という習慣がある日本だからこそ、定着したのかもしれないですね。(事務員R)

入院・転院のご相談

<空所情報>※3/7現在
回復期病棟(0床) 療養病棟(0床)
ホームページで確認できます

医療法人社団誠和会長谷川病院
■地域連携部(MSW)：渡邊、山本、安部
TEL:043(444)0137
FAX:043(444)0257
HP:<http://www.hphasegawa.or.jp/wp/>

